

当事者と創り、 奏でるケアを求めて

2026
7/12
(日)



私たちは日々の看護や教育、研究の中で、病とともに生きる方々の声に本当に耳を傾けられているのでしょうか。本セミナーではALS・糖尿病・腎臓病の当事者をお迎えし、これまでの歩みや暮らしの工夫、支えとなった出来事を語っていただきます。医療者の実践も共有し、参加者との対話を通じて、患者の物語に耳を澄まし「ともに創り、奏でるケア」を考えます。

第3会場 301会議室

9:00～10:10

ALSをもつ人々の語りと看護 —その人らしく生きる人々の生活と看護—

演者 | 河原 学 (日本ALS協会岡山県支部)
トマス・ギャビン (日本ALS協会岡山県支部)
鶴川 ゆみ (南岡山医療センター 難病看護師)
木村 古都 (南岡山医療センター 難病看護師)

10:30～11:40

糖尿病と生きる —1型糖尿病を持つ人と その家族の軌跡から共創を考える—

演者 | 1型糖尿病をもつ患者さんとそのご家族
園田 由美 (川崎医療福祉大学 慢性疾患看護CNS)

第2会場 コンベンションホール

9:00～10:10

腎臓病のある身体とともに生きる —当事者のまなざし、看護のまなざし—

演者 | 田中 順也 (堺市立総合医療センター 慢性疾患看護CNS)
大西 康博 (岡山大学慢性腎不全総合治療学講座 医師)

